

(別紙様式1)

令和3年度の目標及びその達成に向けた活動計画

都 道 府 県 名 : 宮 崎 県
農 業 委 員 会 名 : 串間市農業委員会

I 農業委員会の状況(令和3年 3月31日現在)

1 農家・農地等の概要

	農家数(戸)
総農家数	928
自給的農家数	218
販売農家数	710
主業農家数	362
準主業農家数	42
副業的農家数	306

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	農業者数(人)
農業就業者数	1,660
女性	749
40代以下	169

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	経営数(経営)
認定農業者	332
基本構想水準到達者	30
認定新規就農者	36
農業参入法人	0
集落営農経営	0
特定農業団体	0
集落営農組織	0

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑	普通畑	樹園地	牧草畑	計
耕地面積	1,530	1,440				2,970
経営耕地面積	1,041	1,033	661	131	241	2,074
遊休農地面積	34.2	9.8	9.8			44.0
農地台帳面積	1,796	1,957	1,957			3,753

※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入

※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 農業委員会の現在の体制

旧制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 R 年 月 日

	選挙委員		選任委員					合計
	定数	実数	農協推薦	共済推薦	土地改良推薦	議会推薦	計	
農業委員数								
認定農業者	—							
女性	—							
40代以下	—							

新制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 R 0 5 年 7 月 1 9 日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	15	15
認定農業者	—	9
認定農業者に準ずる者	—	0
女性	—	1
40代以下	—	0
中立委員	—	1

	定数	実数	地区数
農地利用最適化推進委員	15	15	3

Ⅱ 担い手への農地の利用集積・集約化

1 現状及び課題

現 状 (令和3年3月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	2,970ha	1,091.8ha	36.8%
課 題	担い手を含む農業者の耕作地が全地域(全農地)で把握できていないため、担い手への集積及び集約を行うための推進及び啓発が困難。		

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 これまでの集積面積は、把握時点において担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

2 令和3年度の目標及び活動計画

目 標	集積面積 1,170ha (うち新規集積面積 77.5ha)
	目標設定の考え方: 委員担当区域全15区域のうち、1区域あたり5ha強で設定
活動計画	<ul style="list-style-type: none">・担い手への農地利用集積にむけたあっせん活動(通年)・あっせんを行うための該当農地の把握と農業委員及び農地利用最適化推進委員への情報提供(通年)・農地中間管理事業の周知・啓発と貸借契約の推進(通年)・所有者不明農地制度を活用した担い手への集積活動(9月～3月)

※1 集積面積は、当該年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入

※2 新規集積面積は、集積面積のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転させた農地)をどの程度増加させるかを記入

※3 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

Ⅲ 新たな農業経営を営もうとする者の参入促進

1 現状及び課題

新規参入の状況	30年度新規参入者数	令和元年度新規参入者数	令和2年度新規参入者数
	0経営体	0経営体	0経営体
	30年度新規参入者が取得した農地面積	令和元年度新規参入者が取得した農地面積	令和元年度新規参入者が取得した農地面積
	0ha	0ha	0ha
課 題	空き農地(遊休農地以外)の把握が不十分であるため、リスト化の必要がある。		

※ 新規参入者数は、過去3年の農地の権利移動を伴う各年度ごとの新たな新規参入数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない(欄の最も右が昨年度)

2 令和3年度の目標及び活動計画

目 標	1経営体	参入目標面積	0.5ha
活動計画	移動相談会を利用し、就農相談による農業経営支援及び就農計画作成の支援、農地のあっせん等を行う。(11月) 新規参入検討者からの相談時における、農業委員及び農地利用最適化推進委員による農地あっせん(通年)		

※1 目標は、1年間に新たに参入させる新規参入者数を記入

※2 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

Ⅳ 遊休農地に関する措置

1 現状及び課題

現 状 (令和3年3月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	3,014ha	44.0ha	1.45%
課 題	悪条件(湿田、農地・農道の狭小化等)により借り手も見つからないため、一律的な指導で解消につなげることが困難(基盤整備の早期取組が必須)。		

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入

※2 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 令和3年度の目標及び活動計画

目 標		遊休農地の解消面積 9.0ha		
		目標設定の考え方:委員担当区域全15区域のうち、1区域あたり0.6haを解消面積とする		
活 動 計 画	農地の利用状況調査	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期
		33人	5月～6月	8月
		調査方法	農業委員・農地利用最適化推進委員・事務局職員で班編成し、図面を用い目視による現地確認。前年図面に直接状況を記入し、持ち帰った図面から農地情報収集。その情報を基に再度、解消指導農地を特定する。	
	農地の利用意向調査	実施時期	調査結果取りまとめ時期	
		10月～11月	11月～12月	
	その他	・新規発生の遊休農地の早期解消指導(通年) ・休耕地(1作休耕地も対象)の把握を行うための定期現地確認と、早期あっせん依頼を行う(通年)		

※1 遊休農地の解消面積は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入

※2 遊休農地の解消面積は、市町村等が策定した目標を農業委員会が共有している場合には、当該市町村等の目標を記入しても差し支えない

※3 「その他」欄には、利用状況調査・意向調査以外の遊休農地解消のための活動を記入

Ⅴ 違反転用への適正な対応

1 現状及び課題

現 状 (令和3年3月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	2,970ha	8.26ha
課 題	長期間にわたる違反転用が多いことから、違反行為であることの認識がないため、指導を行っても是正できない。	

※ 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※ 違反転用面積は、把握時点において管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

2 令和3年度の活動計画

活動計画	・農業委員会だよりによる周知徹底(2回掲載予定) ・利用意向調査と併せ、転用申請可能農地の申請指導の実施(10月～3月)
------	---

※ 活動計画は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に行うのか等詳細かつ具体的に記入